

等々の社会成人教育もを以て無産階級の階級的自覚を鋭意切害してゐる。これ等を積極的に対抗し支配階級の権取と抑圧を曝露し科学によつて一切の独断を破り、大衆を支配階級の精神的支配より解放することが無産党の教育的任務である。

(二) 組織大衆に対する教育用争——日常用争、選挙用争、其他の用争を通じて党に組織される大衆を以てそのブルジョア的イデオロギイ、階級を一掃せしむべき階級的意識を信念にまで訓練し、積りもすれば無産党の陣営にまでも蘇起手を伸ばさんとするブルジョア教化から彼等を防衛することが無産党の教育的任務である。此の用争は二重に重要である。第一は無産党の現在の地位に、第二は無産党の意識の親濁性。

(一) 大衆的協同戦線党としての必然である党の意識の親濁性。  
(四) 選挙用争を通じて流入する大衆の意識のブルジョア性。  
(六) 財政確立を以て困難とする不可避なる選挙用争を通じて発生する運動に於ける個人中心主義及び地区主義。

(二) 以上の諸原因に基づくブルジョア指導者の發生の危険性——これ等に対して党の階級性を防衛する最前線に起るものは教育用争である。  
第二に無産政党的歴史的地位に、即ち大衆党としての無産政党的大衆の自衛利益の防衛、伸張の現実的機関たると同時にこれ等の現実的利益獲得用争の成敗から独立した無産階級解放なる至上目的に対する階級意識に基づく団体行動の訓練と教育の歴史的使命である。その目的のためにも教育用争は用争線に沿つて進まねばならぬ。

教育用争の系則  
（一）行動と結合した教育——無産階級の實踐的行動そのものが最大の教育訓練である。一、ストライキ、二、政治用争、三、選挙用争、四、闘争、五、学説教授、六、大なる教育訓練性を有する組織用争、宣傳用争と共に無産党の活動を分擔して組織される教育用争は勿論理論を中心とした用争である。  
（二）教師風教授（活動と遊離せる学説教授）の教授、造型的結合主義、官僚主義等とその細末にまで対立するプロレタリア的独立教育権を以てせねばならぬ。プロレタリア的独立教育様式は何んぞや、を生きた理論を生ける教育者、学生に依つて討議することである。即ち用争に從つてゐる教育委員と學生の交互作用、學生の教育運動管理を創意的發揮、實現と結合せしむる理論、用争に結合せしむる教育運動組織、生ける教育、實現物、教授、實現物訓練等、これを一言にすれば教育用争の展開と其の効果は實踐的行動と有機的に密着してゐるならぬ。

（三）理論、實踐性、組織性、指導性、教育用争の展開と其の効果は實踐的行動と有機的に密着してゐるならぬ。即ち用争に從つてゐる教育委員と學生の交互作用、學生の教育運動管理を創意的發揮、實現と結合せしむる理論、用争に結合せしむる教育運動組織、生ける教育、實現物、教授、實現物訓練等、これを一言にすれば教育用争の展開と其の効果は實踐的行動と有機的に密着してゐるならぬ。